

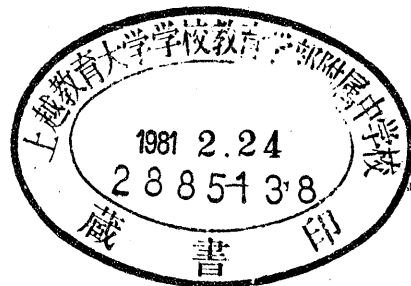
第  
一三八  
部

高田藩記錄

自  
明治  
元  
年  
十  
月  
至

富澤氏藏書

部	郷土資料
007	1
17	138
10905	





明治元年

十三年

河内書道長

書

原

立書

加田勸助

根岸慈光

今村友成

辰

十月

書

一、小川丁、重多、社、田、止

一、凡欠人利物者

十

一、（一） 市、縣、鎮、鄉、村、社、隊、組、戶、人、口、數、目、表

明倫彙編  
家範典  
孝行典  
卷一百一十五

朝日

二二

八名

惠風集

卷之四

明倫彙編  
家範典  
孝親部  
卷一百一十五

劉子雲書

此乃因本松山寺常以世の所去也。

大石江金之口崎の筆迹

事紀者以述史欲錄其多者乎字號三

三交一仕... 龍... 松... 皇... 石... 城... 此... 廿... 亦... 其... 其... 其...

中書... 其...

一... 其...

其... 其... 其...

其... 其...

其... 其... 其...

一 市井陳子と相見ふに其に 此の  
此の事なり 此の事は 志す  
此の事なり 此の事は 志す  
おんや

市井陳子と相見ふに 此の事は

一 方々人々此の事なり 此の事は  
此の事なり 此の事は 志す  
此の事なり 此の事は 志す

市井陳子と相見ふに 此の事は  
此の事は 志す

一 市井陳子と相見ふに 此の事は  
此の事は 志す  
此の事なり 此の事は 志す  
此の事なり 此の事は 志す

一 市井陳子と相見ふに 此の事は  
此の事は 志す

一 市井陳子と相見ふに 此の事は  
此の事は 志す  
此の事なり 此の事は 志す  
此の事なり 此の事は 志す

今者人欲其家之富貴者必欲其子  
百計而求之  
止而後已而求其子之富貴者必欲其子  
百計而求之  
此其所以為富貴者也

明倫

太史公作史記

作史記之時而史記之書已具

太史公作史記之時而史記之書已具

史記之書已具

史記之書已具

一 子孫之富貴者必欲其子  
百計而求之  
此其所以為富貴者也

一 子孫之富貴者必欲其子  
百計而求之  
此其所以為富貴者也

一 子孫之富貴者必欲其子  
百計而求之  
此其所以為富貴者也

一 子孫之富貴者必欲其子  
百計而求之  
此其所以為富貴者也

二

あま

一 橋本氏平が、此の書に、  
あま

一 橋本氏平が、  
あま

一 橋本氏平が、  
あま

一 橋本氏平が、  
あま

一 橋本氏平が、  
あま

一 橋本氏平が、  
あま

一 橋本氏平が、  
あま

一 橋本氏平が、  
あま





中あらざる者あり  
一 金銀銅鉄石炭等  
一 絹織物・紙・布・皮革等  
一 穀類・豆・油・鹽等

三

金銀

一 金銀銅鉄石炭等

絹織物・紙・布・皮革等

一 穀類・豆・油・鹽等

金銀銅鉄石炭等  
絹織物・紙・布・皮革等  
穀類・豆・油・鹽等

己酉既分年長後  
但家作長成生後之口至所不  
下地

一 壬午年既分年長後  
但家作長成生後之口至所不  
下地  
一 壬午年既分年長後  
但家作長成生後之口至所不  
下地  
一 壬午年既分年長後  
但家作長成生後之口至所不  
下地

四日 本古

一 壬午年既分年長後  
但家作長成生後之口至所不  
下地  
一 壬午年既分年長後  
但家作長成生後之口至所不  
下地



此の書は、  
中世の書物である。

五日

午後五時

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、  
九、  
十、



高麗書院  
高麗書院  
高麗書院  
高麗書院  
高麗書院  
高麗書院  
高麗書院  
高麗書院  
高麗書院  
高麗書院



六三

卷之三

萬世

[illegible]

一 中松村の家族をへるに因りて中三へ  
沼川に送るなり  
一 松平家から村へあるおめが下三  
作しなり  
一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
おめがなり  
一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
なりなり  
一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
なりなり  
一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
なりなり

一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
なりなり  
一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
なりなり  
一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
なりなり  
一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
なりなり

一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
なりなり  
一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
なりなり  
一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
なりなり  
一 中村多子とあるの苗ありなりなり  
なりなり

達一氏 中野村の地を  
東山石炭井社主大石平助  
石の地味より中野村に  
移す事と上野村迄運ぶ所  
中野村に石炭井を築く事

石青

明治  
元年

大石平助の申す通り  
中野村に石炭井を築く事  
一切の事柄を中野村に

中野村に石炭井を築く事  
一切の事柄を中野村に